

平成22年度 主要事業

「安心」と「安定」の予算編成

～時代の潮流をとらえ、新しい波を乗り越えます！～

平成21年度予算では、急激な景気低迷により法人市民税が約94%減少し、それまで拡大していた財政を適正規模に縮小しました。本年度の市税総額は若干増加するものの、経済動向などを踏まえると、大幅な税収回復は見込めない状況です。

引き続き中期的な財政見通しに基づいた健全な財政運営に努め、市民生活に直結する福祉・医療・教育など行政サービスを維持しながらも、「当面取り組むべき課題」と「将来への備え」に配慮した予算編成を行いました。

ここでは、主な事業と予算額をご紹介します。

▶財政課 ☎23局3818

❖当面取り組むべき課題

1 雇用や生活の不安への対応

商 工金融利子補給など、市民の雇用や生活への不安に対応する事業を推進します。

公共事業を活用した地域企業への支援

充 道路管理の充実 1億9818万円
維持管理費用の拡充、地域企業の受注機会創出

緊急雇用創出

充 緊急雇用創出 9160万円
失業者雇用事業の継続

中小企業支援

継 商工金融利子補給 1億1068万円
利子1.5%補助継続など



●道路管理などの公共事業を活用し、地域企業を支援

2 継続して取り組むべき地域課題への対応

子 育て・高齢者支援や地域医療の拡充・災害対応など、市民生活に直結する事業を、行政サービスの質を後退させず、できる限り充実を図ります。

子育て支援・高齢者支援

継 子ども医療費助成 2億4835万円
中学3年生まで医療費無料を継続（所得制限なし）

充 保育の充実 4億3946万円
長時間保育6園（5園から拡充）など

新 子ども手当支給 12億 414万円

新 肺炎球菌ワクチン予防接種補助 1億2210万円
70歳以上を対象



●より子育てしやすいまちに